

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

国民生活を豊かにする

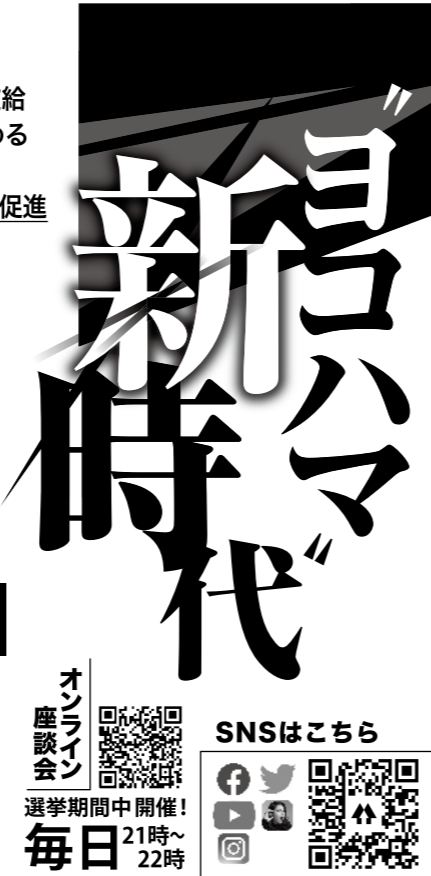
- 1 コロナ禍における雇用調整助成金、持続化給付金、家賃支援補助金などの延長と再支給
- 2 IoT・AI(人工知能)・ロボット・ブロックチェーン・自動運転車などの技術革新を進める
- 3 2030年最低賃金1,500円を目指す
- 4 エッセンシャルワーカーへのディーセントワーク(働きがいのある人間らしい仕事)の促進
- 5 格差是正と持続可能な経済成長を実現するベーシックインカムの実証実験の開始

持続可能な社会を目指す

- 1 「少子化対策」と「イノベーション」に徹底投資
- 2 奨学金の返済を実質的に免除する仕組みを制度化
- 3 オンライン教育立国の実現
- 4 希望する人が産休・育休もあたりまえに取得できる社会づくり
- 5 自然エネルギー比率2030年40%、2050年100%を目指しカーボンニュートラルを実現

クリーン・フェア・オープンな政府を実現

- 1 生産性・利便性を向上させるDX(デジタルトランスフォーメーション)の加速
- 2 国政選挙、地方選挙等におけるインターネット投票の導入
- 3 シビックテック(市民によるデジタルを活用した課題解決)の政策立案を推進
- 4 日本銀行のデジタル通貨(デジタル円)の発行に関する研究検討の加速
- 5 政府の隠蔽・捏造・改竄など嘘偽りに歯止めをかけ、透明性の高いあたりまえの民主主義国家を取り戻す



最重要政策

- 1 いつでもどこでもPCR・抗原検査&希望者へのコロナワクチン接種を加速化
- 2 国民への特別定額給付金10万円の再給付&消費税は5%以下に減税
- 3 国民生活を豊かにする成長戦略「デジタルニューディール」を牽引
- 4 幼児教育から大学までの基礎的費用を無償化&中学校給食の実現
- 5 無痛分娩なども含め、出産にかかる基礎費用は全て無償化
- 6 老後に安心! 持続可能な年金、介護、医療福祉などの社会保障システムの確立

みんなの幸せのために!!



立憲民主党
なかたに 中谷一馬
かずま

野党若手のリーダーとして
から 国民を守る

1983年8月30日 38歳。貧しい母子家庭に育つ。文字通りの「子どもの貧困」を生き抜く。厳しい経済環境で育ったことから、経済的な自立に焦り、中学卒業後、いったん社会へ。その後、一念発起し、右記の経歴を歩む。

日吉中学校 卒業 / 横浜平沼高等学校 卒業 / 呉竹鍼灸柔整専門学校 卒業 / 慶應義塾大学 在籍 / デジタルハリウッド大学 大学院 MVP(首席)修了 / DCM修士(専門職)

柔道初段 柔道整復師 柔道検定2級

第7回マニフェスト大賞 最優秀政策提言賞 受賞 / 著書「セイジカ新世代」等 望月ブックオブザイヤー2020大賞 受賞

立憲民主党 本部 デジタル政策PT事務局長
立憲民主党 神奈川県第7区総支部 (横浜市港北区・都筑区) 総支部長など

朝まで生テレビ、Abema Prime、Yahoo!ニュース、日本経済新聞、日経クロステック、ビジネスジャーナル等中谷一馬の活動を様々なTV、新聞、雑誌、ネットニュースに取り上げていただきました。

野党統一 立憲民主党 衆議院議員候補

「変化の時代」の成長戦略。規制や制度の改革を徹底し、日本の底力を解き放つ

- 必要な規制改革、税制改正を徹底的に進め、人材と資金の好循環を実現し、民間が主役の成長を実現。
- イノベーションを阻害しない法体系への転換を進める。
- 行政についても民間の資金、ノウハウ、人材を活用し、「公務員が税金を使って行う」領域を見直す。
- 教育と再チャレンジなど、個人のチャンスに重点を置いたセーフティネットへの転換を進める。

徹底したコロナ対応、そしてその先へ。将来の不安を減らす

- 迅速なワクチン接種、治療薬の開発、医療提供体制の改善を進め、必要な場合に水際対策を含む強制的な措置や必要な補償を行える枠組みづくりを行う。
- 高齢化や医療の高度化を踏まえた持続可能な社会保障制度へ抜本改革。
- 気候変動リスクに対応するため、エネルギー、金融、経済を包含するエコシステムを形成。

戦略的外交と現実的安全保障で、日本を守る

- 台湾有事や東シナ海、南シナ海の不安定化を想定し、自由主義陣営と中国の対立の最前線にある日本として防衛力を強化し、日米同盟を基軸に台湾や英国のTPP加入等、価値や利害を共有する国々との連携を強化。
- 国際政治のステージで「共通の価値」「地球規模課題の解決」を主導するとともに、経済安保・国際的ルール形成における戦略的取り組みを強化。

「子育て」「人づくり」こそ国の礎。頑張る人が主役の「やればできる」日本

- 子育て支援の拡充や高等教育も含めた家庭の経済負担を軽減。
- 全ての方に必要な機会を均しく提供できるよう、公教育、教育費の支援制度、グローバル人材の育成、待機児童対策、多様な育児支援など、子育て、教育に重点投資。
- 基礎学力の上に一人ひとりが個性を活かし違いを生み出せる教育への転換。

「変化の時代」。これをさらに加速したのがコロナ禍でした。これまでも危機のたびに力強く立ち上がってきた日本です。この「変化」をチャンスと捉え、自らの力にする底力が、日本にはあると私は確信しています。これからの成長のカギを握るのは、今後成長する可能性がある分野に良質な人材と資金が集まるかどうか。皆さんの力を発揮していただける環境を創れるかが政治には問われています。だからこそ、私たちはそれを邪魔する制度や規制、ルールを徹底して変えていかねばなりません。そして、額に汗して努力する者が報われ、誰にでもチャンスがあり、失敗しても何度でも挑戦できる社会こそが成長の大前提です。政治のもう一つの大きな使命が、皆さんの不安を解消すること。新型コロナウイルスの感染拡大、増大する中国の脅威など緊迫する東アジア情勢、気候変動問題等のリスクに毅然と対応し国民の生命財産を守る責任が政治にはあります。困難な時代だからこそ、政治への国民の皆さんの信頼は不可欠であって、政治も変わらねばなりません。政治に近い一部の特定の人の既得権を守ることに汲々とするような古い政治体質から脱却し、将来を見据えて改革を断行できる政治に変えることが、求められます。自由で開かれた活力ある日本をともに創っていくようではありませんか。

プロフィール
●サラリーマン家庭の長男として昭和52年2月生まれ
●目黒区立不動小、開成中・高、東大法(在学中はボート部で活躍、アメフトも経験)卒業後、大蔵省、福岡国税局、衆議院議員(4期・神奈川県7区選出)。
●行動する改革派として、無駄削減、道路財源一般財源化、北朝鮮・中国問題、温暖化対策等に積極的に取り組む。法人税引下げも主導。
●外務副大臣、財務副大臣、党青年局長、国土交通大臣政務官等を歴任

改革、断行。

自民党を変え、政治を変える。



自民党公認
鈴木けいすけ 44歳